



COOLSHARE

クールシェアくまがや



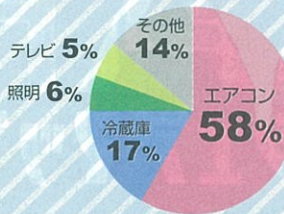
熊谷市内の公共施設や一般事業所の皆さまが、平成30年6月1日～9月30日の期間、1人1台のエアコンを止めて、お出かけになった皆さまに、様々なサービス・おもてなしをしてくれます。あなたも節電して、地域活性・温暖化防止に協力を！



クールシェアのすすめ

クールシェアは、東日本大震災直後の多摩美術大学のゼミで生み出されたアイデアで、当初は、夏期の消費電力ピーク時に懸念されていた、「計画停電」を防止することを目的に提案されました。夏の電力消費ピーク時に、ご家庭でのエアコンの使用による電力消費の割合が突出していることがわかりました。そこで、クールシェアは家庭での無駄なエアコンの使用を減らすことを推奨します。

夏の日中(14時頃)の消費電力(全世帯平均)



(資源エネルギー庁の推計)

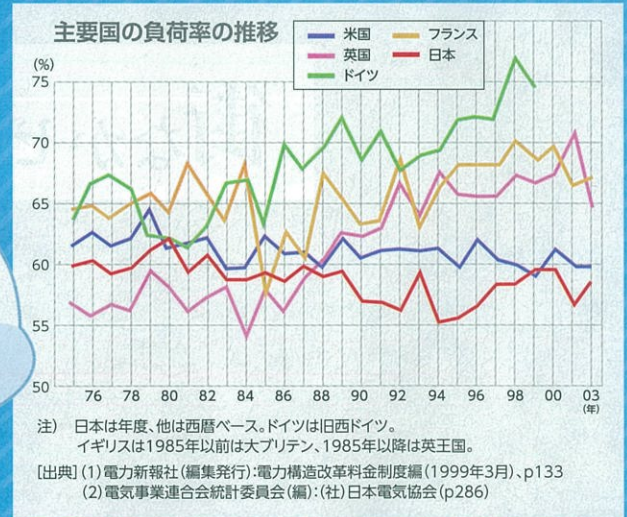


こののぼりとステッカーの貼ってある場所はクールシェアくまがや参加店です。



主要国の負担率の推移

日本は「ピーク時の消費電力」と「消費電力の平均値」との割合を示す「負担率」が、他国に比べて非常に低いことです。(負担率の数値が低い方が、ピーク時と平均値との差が大きい)ピーク時の消費電力をベースに、必要発電量が算定されていますので、ピーク時の消費電力を削減すれば、発電所の数を減らすことができるわけです。



注) 日本は年度、他は西暦ベース。ドイツは旧西ドイツ。
イギリスは1985年以前は大ブリティン、1985年以降は英王国。
[出典] (1) 電力新報社(編集発行):電力構造改革料金制度編(1999年3月)、p133
(2) 電気事業連合会統計委員会(編):(社)日本電気協会(p286)



熱中症対策としても有効

クールシェアは、熱中症対策としても有効です。ご家庭にエアコンの無い高齢者の方など、猛暑時に時間を過ごすための「シェルター」(避暑地等)が公共施設などに、特別に設けられています。その設置数は少ないので、より身近な図書館、民間の施設などで避暑をすることができれば、熱中症対策としてより有効です。



○おうちでクールシェア

3台のエアコンをつけていたら2台を止め、1部屋に集まり家族団らんを。

○ご近所でクールシェア

自宅のエアコンを止め、ご近所のお宅に集まって楽しいおしゃべりタイム。

○公園でクールシェア

エアコンを止めて公園に行き、大樹の下や水辺などの涼しい場所で過ごす。

○まちでクールシェア

パブリック空間やカフェなどを、エアコンを止めてくる人たちに提供する。

冷や汁 DE クールシェア!



←このマークの付いたお店はクールシェア期間中に各店舗オリジナルの美味しい冷や汁を提供しています! 熊谷の暑い夏を熊谷の美味しい冷や汁を食べて元気に乗り切りましょう。
※冷や汁の提供時間、価格等は店舗によって異なりますので、詳しくは直接提供店舗にお問い合わせください。